

主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善について（小・中国語） ～令和元年度鹿児島学習定着度調査の結果から～

義務教育課

小学校

令和2年1月に実施した鹿児島学習定着度調査では、小5国語科の平均通過率は73.6%であり、このうち「基礎・基本」の問題については76.6%、「思考・表現」の問題については68.4%という結果でした。平均通過率が目標としていた7割を超え、定着が期待される問題を確実に正答できるようになったと考えられます。

「基礎・基本」については、ローマ字で書く問題の定着が不十分でした。また、適切な敬語を選択する問題にも継続して課題が残っています。

「思考・表現」については、複数の情報を関係付けて、自分の考えを文章化する問題に継続して課題が残っています。通過率は目標に達していませんが、無解答率は低くなっており、自分の考えを文章化することの能力は高まっています。

特徴ある問題から

② 五 読解力を問う問題 正答率 69.6%

AはBではない。
CはBである。
BはDである。
(問)
()はDである。

五 次の文章を読み、あとの()に当てはまるものとして、最も適切なものを次のアからウの中から一つ選び、その記号を□の中に書きましょう。

「温度によって変わる水のすがた」

湯気は、水の小さいついで、水じょう気ではない。水を熱したときに出てくるあわは、水が目に見えないすがたに変わったもので、水じょう気である。水じょう気は、気体である。

()は、気体である。

ア 湯気
イ 水の小さいついで
ウ 水を熱したときに出てくるあわ

□

学習指導要領解説から

本問題は、「知識及び技能」の内容の「文や文章」、「情報の扱い方に関する事項」の「情報と情報との関係」を意識して出題した問題です。

主語と述語を理解して、係り受けの関係や表現の仕方に気を付けながら正しく理解する問題を出题しました。

授業改善のポイント

書かれている事柄や内容を正確に読み取れるよう、以下の事項に注意して指導しましょう。

- 1 主語と述語の関係を確認させたり、修飾・被修飾の関係、接続の関係などに気を付けて読ませたりして、文の構造を把握しながら読めるようにさせましょう。
(例)「この文の主語は何になるかな。」
「この接続語『しかし』は、何を打ち消しているのかな。」
- 2 目的に応じて、中心となる語や文を捉えさせたり、事実と意見との関係を考えたりさせながら読み、話の中心や筆者の意図を正確に把握させましょう。
(例)「この文章で筆者が一番伝えたかった文は、どの文だと思いますか。また、それはなぜですか。」

中学校

令和2年1月に実施した鹿児島学習定着度調査では、中1国語科の平均通過率は79.6%でした。このうち「基礎・基本」の問題については82.8%、「思考・表現」の問題については73.6%という結果でした。中2国語科の平均通過率は74.5%であり、このうち「基礎・基本」の問題については78.1%、「思考・表現」の問題については66.4%という結果でした。中学校国語科においては、平均通過率が目標としていた7割を超え、定着が期待される問題を確実に正答できるようになったと考えられます。

「基礎・基本」においては、中1では慣用句の意味を理解し、生活の中で正しく使う問題に、中2では、動詞の活用形、敬語の種類を理解しているかを問う問題に課題がありました。

「思考・表現」について、物語文の読解において、場面の展開や登場人物の行動の意味について、描写を元に理解し、自分の考えをまとめる問題に課題がありました。

文章に表れているものの見方や考え方に対して自分の考えをもち、その根拠と理由について、筋道立てて書くことができるかを問う問題の通過率が高まっています。

特徴ある問題から

1 六1「要約」

六2「文章と図表を結び付ける」

事実と意見を読み分け、目的に応じて要約することができるか。

文章の内容と図表を結び付けて捉えることができるか。

- 1 文章中の「A」「B」に当てはまる言葉の組み合わせとして、最も適切なものを次のアからエの中から一つ選び、その記号を書け。
- ア A 多くなる B 少なくなる
 - イ A 少なくなる B 多くなる
 - ウ A 多くなる B 多くなる
 - エ A 少なくなる B 少なくなる

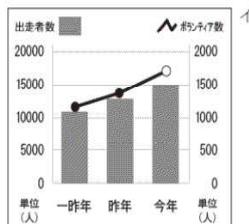
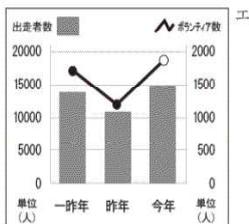
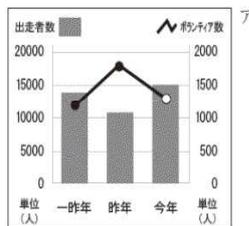
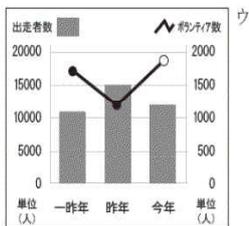
六 次の文章を読み、あとの各問いに答えよ。

県内では、マラソン大会が盛んに行われています。昨年のある大会では、出走者が約一万一千人でしたが、今年約一万五千人が出走する見込みです。大会には、それを支えるボランティアも欠かせませんが、ボランティアとして集まる人の数は、ここ数年マラソンの出走者の数に比例して増減する傾向があるようです。出走者が多いときにはボランティアも多く集まり、少ない年はあまり集まらないことが多いようです。ちなみに、一昨年は出走者が約一万四千人で、ボランティアの人数は約七百人だったそうです。

このことから、今年のボランティアの人数は、昨年のボランティアの人数よりも「A」ことが予想されます。なぜなら、今年の大会に出走する人の数は、昨年の出走者よりも「B」ことが見込まれているからです。

六 次の文章を読み、あとの各問いに答えよ。

県内では、マラソン大会が盛んに行われています。昨年のある大会では、出走者が約一万一千人でしたが、今年約一万五千人が出走する見込みです。大会には、それを支えるボランティアも欠かせませんが、ボランティアとして集まる人の数は、ここ数年マラソンの出走者の数に比例して増減する傾向があるようです。出走者が多いときにはボランティアも多く集まり、少ない年はあまり集まらないことが多いようです。ちなみに、一昨年は出走者が約一万四千人で、ボランティアの人数は約七百人だったそうです。



2 文章の内容を表しているグラフとして、最も適切なものを次のアからエの中から一つ選び、その記号を書け。

学習指導要領解説から

「情報の扱い方に関する事項」では、話や文章に含まれている情報を取り出して整理したり、その関係を捉えたりすることで、話や文章の正確な理解につながることを示されています。また、そのために、叙述を元に文章の構成や展開に気付くことが大切であることも示されています。このことを踏まえ、文章と図表とを結び付ける問題を中1、中2の共通問題として出題しました。

授業改善のポイント

	六1	六2
中1	83.8%	67.9%
中2	86.1%	71.5%

調査の結果、文章を読んで内容を理解し、要約する問題に関しては、両学年とも目標の8割を超える通過率でした。

しかし、文章と図表を結び付ける問題では、目標の8割を超えることができませんでした。

そこで、特に以下のことに気を付けて指導していきましょう。

- 「言葉による見方・考え方」を働かせて対象同士の関係を捉えさせたり、書かれている事柄や内容を図に表させたりして、内容を正確に読み取らせましょう。

(例)「この文章を図に表すとどうなりますか。」

「この表を文章で説明してみよう。」

- 他教科において、図や表が使われていたとき、その図や表を説明させる場面を積極的に設定して指導しましょう。